

地域振興



丸山 幸弘 議員

Q

イベントによる地域活性化について

A

一定の成果があり、価値がある

丸山

現在、様々なイベントを実施、または補助されており、地域活性化の観点から、その意義について町長の考えを伺う。

町長

町が関係するイベントは、多数ある。主なものとして広川まつり、かすり祭、古墳まつりがある。これらは、共通して町民の郷土愛やふるさと意識を深め、住民相互の交流による地域の活性化を目的としている。かすり祭は、久留米餅の需要拡大や産地振興、古墳まつりは、文化振興も目的としている。効果については、一定の賑わいを見せており町内外の人との触れ合いや地域特産品販売により地場産の振興、歴史文化の振興などに一定の成果は上がった。

ていると考えている。

丸山

行事、イベントによって人が活性化し、町が活性化することは、町の課題解決の一助となる。かすり祭、古墳まつりは、その目的が明確だが、広川まつりは、明確なコンセプトが必要と考える。子どもたちへのアンケート調査で9割の子どもが広川まつりを楽しみにしているという結果がある。このことから、子どもたちが夢を持つような祭りとして、広川ならではの祭りとして続けていかなければならないと考えるが、町長の思いを伺う。

町長

子どもたちが、日常では味わえない興奮を味わったという記憶が非常に印象に残っているのではないかと思う。祭りというのはそういった効果があると思うし、そのことが地域への愛着や故郷への誇りにつながっているのであれば、価値があると思う。子どもたちにとって将来にわたって広川町への愛着につながるような試みができれば良い。町民の皆様が楽しめる、そ



広川まつりの様子

して、子どもたちの心に残る、そういうイベントにしていければと思う。

丸山

行政区のイベントについて、小規模な行政区においては予算的、人的にも非常に苦勞されている。また自主的なイベントを行う団体に対して町が応援する考えはあるか。

町長

行政区のイベント補助については、地域コミュニティ推進事業に取り組んでいる。地域ごとに特色あるイベントを積極的に企画いただくなど活用いただきたい。

自主的な小規模イベントについては、町民提案型まちづくり事業補助金によって支援できないか検討している。この補助事業は、以前実施していたものの、開始から3年経過した時点で一旦見直すこととしたもの。地域活性化の一つの手段として今後検討を進めたい。

丸山

イベントは「やらなければならぬ」ではなく「やりたくてたまらない」人々に任せるべきである。このような人たちと連携することで行政の負担軽減にもつながる。小規模行政区や自主イベントグループへの支援をぜひお願いしたい。